

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年12月23日(2022.12.23)

【公開番号】特開2021-108763(P2021-108763A)

【公開日】令和3年8月2日(2021.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2021-034

【出願番号】特願2020-721(P2020-721)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月15日(2022.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

図柄を変動表示可能な図柄表示手段と、

複数種類の中の何れかのセリフに対応するセリフ音の出力と、該セリフ音に対応するセリ

フ文字の表示とを行うセリフ演出を実行するセリフ演出実行手段と、を備えた

遊技機において、

前記セリフ演出は、前記セリフが共通の第1セリフ演出と第2セリフ演出とを含み、

前記セリフ演出実行手段は、前記セリフ文字の表示と前記セリフ音の出力を開始した後、

前記セリフ音の出力終了後に前記セリフ文字の表示を終了し、

前記第1セリフ演出と前記第2セリフ演出とで、前記セリフ文字の表示態様を異ならせる

とともに、遊技者に有利な利益状態の発生に関する信頼度を異ならせ、

前記図柄の変動表示中に特定予告を実行可能であり、

前記特定予告を実行する場合に、該特定予告に関する音声を出力可能な音声出力手段と、

前記特定予告を実行する場合に、所定部位を振動させることによって振動音を発生可能な振動音発生手段とを有し、

前記音声出力手段による音量を、最大音量と最小音量との間で設定可能な音量設定手段を備え、

前記振動音発生手段は、前記特定予告に関する音声を出力する場合に該音声と並行して前記振動音を発生させ、

前記特定予告に関する音声は、

前記最大音量に設定された場合には前記振動音に対して聴容容易であり、

前記最小音量に設定された場合には前記振動音に対して聴容困難となるように構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

【 0 0 0 4 】

本発明は、セリフ音の出力を含む音による演出をより効果的に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、図柄を変動表示可能な図柄表示手段と、複数種類の中の何れかのセリフに対応するセリフ音の出力と、該セリフ音に対応するセリフ文字の表示とを行うセリフ演出を実行するセリフ演出実行手段と、を備えた遊技機において、前記セリフ演出は、前記セリフが共通の第1セリフ演出と第2セリフ演出とを含み、前記セリフ演出実行手段は、前記セリフ文字の表示と前記セリフ音の出力を開始した後、前記セリフ音の出力終了後に前記セリフ文字の表示を終了し、前記第1セリフ演出と前記第2セリフ演出とで、前記セリフ文字の表示態様を異ならせるとともに、遊技者に有利な利益状態の発生に関する信頼度を異ならせ、前記図柄の変動表示中に特定予告を実行可能であり、前記特定予告を実行する場合に、該特定予告に関する音声を出力可能な音声出力手段と、前記特定予告を実行する場合に、所定部位を振動させることによって振動音を発生可能な振動音発生手段とを有し、前記音声出力手段による音量を、最大音量と最小音量との間で設定可能な音量設定手段を備え、前記振動音発生手段は、前記特定予告に関する音声を出力する場合に該音声と並行して前記振動音を発生させ、前記特定予告に関する音声は、前記最大音量に設定された場合には前記振動音に対して聴容容易であり、前記最小音量に設定された場合には前記振動音に対して聴容困難となるように構成されているものである。

10

20

30

40

50

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明によれば、セリフ音の出力を含む音による演出をより効果的に行うことが可能となる。